

1 個人結果票について

令和元年度埼玉県学力・学習状況調査

事務連絡（7月2日付け）再掲

担任用

個人結果票の活用について



県教育委員会では、県内公立小・中学校の小学校4年生から中学校3年生までの児童生徒一人一人の学力の経年変化（学力の伸び）を把握するために、平成27年度から県学力・学習状況調査を行っています。

「個人結果票」は、児童生徒一人一人の調査結果を、児童生徒や保護者、先生方にお知らせするものです。

児童生徒には、学力の伸びを実感し自信を深めることで、学習意欲がさらに高まるよう、個人結果票の返却時に声をかけてください。

保護者の方には、家庭学習を励ますために、児童生徒の伸びやつまづきを具体的に伝えてください。

先生方におかれましては、児童生徒一人一人のつまづきを早期に発見し、その解消を図ることができるよう御活用ください。

1 個人結果票の返却及び活用の流れ

返却前

○ 個人結果票に、各学校で保管している個人番号シール票をもとに、組、出席番号、名前を記入する。

※ この作業を間違えると、児童生徒に誤った結果が返却されることになります。間違いがないか十分に確認してください。

返却時

児童生徒には

- 本調査の特徴を伝えます。
 - ・「学力の伸び」が分かる調査であること
 - ・現在の「学力のレベル」が分かる調査であること
- 一人一人の1年間のがんばりや伸びを認め、ほめるとともに苦手領域を中心に家庭学習をするよう言葉かけをします。
- 夏休み以降の学習計画のアドバイスをします。

保護者には

- 可能な限り時間をかけて、お子さんのよさや課題を伝えます。
- 伸びたところをほめるとともに、苦手領域を中心に家庭学習を行うよう伝えます。
- 家庭学習には、県のホームページから本調査の「復習シート」をダウンロードして活用できることを伝えます。

埼玉県学力・学習状況調査 復習シート

検索

※ 御家庭への返却につきましては、各学校の実態に応じて、7月中旬以降9月中を目途にお願いします。この結果を今後の学習に生かせるよう、できる限り早く返却いただけるよう御協力をお願いします。

埼玉県教育委員会

2 個人結果票の見方について

【個人結果票 1 ページ】

1 ページには、**2・3 ページの、教科に関する調査結果の見方**が掲載されています。

また、**それぞれの学力のレベルで正解できる問題の例**（実際の調査問題のうち、当該レベルの児童生徒が70%程度の確率で正答できる問題）が掲載されています。調査は4月実施のため、各教科とも調査問題の出題範囲は前学年の内容です。参考にしてください。

【個人結果票 2・3 ページ】

国語

教科に関する調査結果

今までの学力の変化

あなたの学力は、「レベル」の中で伸びがわかりました。

学年	国語	算数	英語	理科	社会	総合
高	レベル10	レベル10	レベル10	レベル10	レベル10	レベル10
中	レベル9	レベル9	レベル9	レベル9	レベル9	レベル9
小	レベル8	レベル8	レベル8	レベル8	レベル8	レベル8
幼	レベル7	レベル7	レベル7	レベル7	レベル7	レベル7

学習に関するアドバイス

あなたの国語の学力は、昨年度1年間の学習により、著実に伸びています。自分の学力に自信を持ち、今後も学習に取り組んでいきましょう。授業への取り組み方や学習習慣を定直し、改善することで、さらに大きく伸びることが期待できます。

話すこと・書くこと・書くこと・書くこと・書くこと。さらに力を伸ばすために、話し合いをする際には司会などにチャレンジし、複数の意見を述べながら聞き、促している提案をまとめるたり、発音が目的に合っているか考えたりしながら、話し合いを上手に導きましょう。書く際には、記述文や報告文、手紙などのいろいろな形で伝えたいことが表現できるように心がけていきましょう。

また、文学的な文章は、推薦人物の書きかた、作品の雰囲気作りへの影響を考えながら読みましょう。取組んだ文章は、書きかたや構成がどのようになっているかを振り返り、今後の学習に活かしていきましょう。

今回のあなたの学力レベルを参考に、黒字ページの「学習シート」を活用して、さらに自分の力を高めたいと思います。

数学

今までの学力の変化

あなたの学力は、「レベル」まで伸びました。

学年	国語	算数	英語	理科	社会	総合
高	レベル10	レベル10	レベル10	レベル10	レベル10	レベル10
中	レベル9	レベル9	レベル9	レベル9	レベル9	レベル9
小	レベル8	レベル8	レベル8	レベル8	レベル8	レベル8
幼	レベル7	レベル7	レベル7	レベル7	レベル7	レベル7

学習に関するアドバイス

あなたの数学の学力は、昨年度1年間の学習により、大変大きく伸びています。自分の学習への取組に自信を持ち、よきさらに伸ばすよう、今後も授業などの学習活動に積極的に取り組んでいきましょう。

関数は、大変よくできました。関数の学習においては、グラフと関数に関連させた問題に積極的に取り組み、式・グラフを使って考えることが大切です。3年生では数値関数で表される関数の学習をするので、一次関数と比較したり、式・表・グラフと関連させたりして考えましょう。

また、関数の学習においては、関数をかいたり補助線を引いたりして、分かっていることを整理し、平行線の性質などを積極的に使うことが大切です。3年生では相似な図形の学習をするので、図中の垂いしご今中に印をつけて取り扱っていきましょう。

今回のあなたの学力レベルを参考に、黒字ページの「学習シート」を活用して、さらに自分の力を高めたいと思います。

英語

今までの学力の変化

あなたの学力は、「レベル」まで伸びました。

学年	国語	算数	英語	理科	社会	総合
高	レベル10	レベル10	レベル10	レベル10	レベル10	レベル10
中	レベル9	レベル9	レベル9	レベル9	レベル9	レベル9
小	レベル8	レベル8	レベル8	レベル8	レベル8	レベル8
幼	レベル7	レベル7	レベル7	レベル7	レベル7	レベル7

学習に関するアドバイス

あなたの英語の学力は、昨年度1年間の学習により、大変大きく伸びています。自分の学習への取組に自信を持ち、よきさらに伸ばすよう、今後も授業などの学習活動に積極的に取り組んでいきましょう。

読むことは、大変よくできました。さらに読む力を伸ばすために、教科書の原文を通して読み、様々な英語の本を読み取り、今までのより高い文章を読むことに挑戦していきましょう。高校入試の英文問題などに取り組むことも効果的です。

また、読書や本文の読解力などの子供や生徒で習った単語や本文の理解を深めに行きましょう。また、書いた単語や本文を使って、自己紹介や簡単な日記など、自分の好きなテーマで英文を書くことに挑戦していきましょう。最初は短い文章から始め、どんなに長い文章が書けるようになるまで挑戦していきましょう。

今回のあなたの学力レベルを参考に、黒字ページの「学習シート」を活用して、さらに自分の力を高めたいと思います。

教科の領域別正答率

学年	国語	算数	英語	理科	社会	総合
高	8	3	85.7	75.3		
中	8	3	85.9	75.3		
小	10	18	71.4	70.0		
幼	24	30	80.0	73.8		

あなたの正答率は黒線（○）、黒平均

県全体の正答率分布

あなたの正答率は、県全体の正答率

教科の領域別正答率

学年	国語	算数	英語	理科	社会	総合
高	11	12	87.7	75.2		
中	4	7	87.1	82.4		
小	5	7	71.4	83.8		
幼	5	8	83.3	85.0		
幼	20	22	78.1	88.0		

二要素の達成

県全体の正答率分布

教科の領域別正答率

学年	国語	算数	英語	理科	社会	総合
高	9	10	85.0	75.1		
中	13	22	88.4	89.3		
小	2	8	83.3	83.5		
幼	30	38	78.9	87.1		

うきこ

県全体の正答率分布

※この個人結果票は、【中学校2・3年生用】です。【小学校4～6年生用】【中学校1年生用】は国語と算数・数学の2教科になります。

(1) 学力のレベルなどの見方について

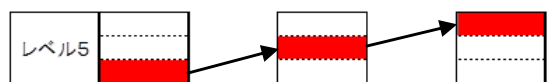
学力のレベルはバーの位置で表しています。学力のレベル表記は1 2段階ありますが、測定は各学年7レベルの間で行います。

例えば、中学2年生の測定範囲は、レベル5からレベル11になります。

学年	学力のレベル
小学校4年生	レベル1～レベル7
小学校5年生	レベル2～レベル8
小学校6年生	レベル3～レベル9

学年	学力のレベル
中学校1年生	レベル4～レベル10
中学校2年生	レベル5～レベル11
中学校3年生	レベル6～レベル12

1つのレベルは、それぞれ3層に分かれており、同じレベルの中でも、スモールステップで学力の伸びがわかります。例えば、同じレベル5の中でも、学力のレベルが高くなるとバーの位置が変わります。



※前学年でのバーの位置と、今回のバーの位置を比べると、学力の変化がわかります。

(2) **今までの学力の変化** について

「児童生徒の学力の変化」について、次のような形でコメントを記載しています。

例：

あなたの学力は、「レベル11」まで伸びました。

コメントは、次の①～⑧のパターンがあります。

	児童生徒の学力の変化の状況	表示されるコメント
①	学力が伸びて、レベルが上がった場合	あなたの学力は、「レベル〇」まで伸びました。
②	同じレベル内で、伸びがあった場合	あなたの学力は、「レベル〇」の中で伸びがありました。
③	学力の位置が前年度と同じだった場合 学力の位置が前年度より下がった場合 (スモールステップでレベルが1つ下がった場合を含む)	あなたは、「レベル〇」の学力があります。 (〇はR1の児童生徒の学力レベルの数字)
④	2つ以上レベルが下がった場合 正答数が0問であった場合 (学力のレベルの は表示されません)	学校の先生等と、学習などについて相談をしてみましよう。
⑤	全ての調査問題に正答した場合	あなたの学力は、レベル〇以上になりました。 (〇は当該学年での最高レベルの数字)
⑥	本年度の調査は実施したが、昨年度の調査を未実施の場合	あなたは、「レベル〇」の学力があります。 (〇はR1の児童生徒の学力レベルの数字)
⑦	本年度調査の一部教科を未実施の場合 (昨年度実施・未実施の場合とも)	未実施教科：本年度の調査を受けていないため、今回の学力のレベルは表示できません。 (実施教科については①～⑥の状況に応じたコメントが表示されます。)
⑧	本年度の調査を全教科未実施の場合 (個人結果票の返却はありません)	—

※個人結果票を返却する際のお願い

【①②⑤の場合】(「学力の伸び」が見られた場合)

- ・本調査のねらいを実現できるよう、学力の伸びた教科について、**児童生徒一人一人の1年間のがんばりを認め、ほめる**言葉かけをお願いします。
- ・その際、「教科の領域等別正答率」や「県全体の正答率分布」なども参考にしながら、**よさを具体的にほめる**よう心がけてください。

【③④の場合】(学力の位置が前年度と同じ、または前年度より下がった場合)

- ・伸びている他の教科や、「教科の領域等別正答率」「県全体の正答率分布」を参考に、**よい部分をほめる**ことを中心に言葉かけをしてください。
- ・学力が前年度と同じか下がっている児童生徒については、「授業への取組」「学習習慣」「生活習慣」などにつまずきや悩みがある可能性があります。**個々の学習方法や生活上の悩みの聞き取り、教育相談などを行う**ことで、児童生徒の状況を把握し、助言し、その後の取組等を見届けるなど十分な支援をしてください。

【⑥の場合】(昨年度未実施の場合)

- ・「教科の領域等別正答率」「県全体の正答率分布」を参考に、**よい部分をほめる**ことを中心に言葉かけをしてください。

【⑦の場合】(今年度一部未実施の場合) 実施教科について、①～⑥に準じてください。

【⑧の場合】(今年度全教科未実施の場合)

- ・個人結果票はありませんが、日常の授業等ががんばっているところ等、ほめることを中心に言葉かけをしてください。

(3) **学習に関するアドバイス** について

アドバイスは3段構成になっています。

例：「同じレベル内で、伸びがあった場合」のコメント

あなたの数学の学力は、昨年度1年間の学習により、着実に伸びています。自分の努力に自信を持ち、今後も学習に取り組んでいきましょう。授業への取り組み方や学習習慣を見直し、改善することで、さらに大きく伸びることが期待できます。

図形は、大変よくできました。図形の学習は、平行線の性質など今まで学習した性質を使い、いろいろな視点から考えることが大切です。3年生では相似な図形の学習があるので、図の中に含まれるいくつかの性質を関連させて考えを深めましょう。

また、関数の学習は、式から交点を求めたり、式をグラフに表したりする問題ができるようになることが大切です。3年生では放物線の学習があるので、分かっていることを、式・表・グラフと関連させ、ていねいに取り組みましょう。

今回のあなたの学力レベルを参考に、県ホームページの「復習シート」を活用して、さらに自分の力を高めていきましょう。

①




②

③

- ・①では、児童生徒の学力の状況について説明し、「学力の伸び」を認めるコメント、授業や学習習慣などへのアドバイスを記載しています。
- ・②では、領域等別に、今後どのような学習がさらに効果的であるかを記載しています。
- ・③では、復習シートの活用を促しています。

「学力レベルが前年度と同じだった場合」「学力レベルが前年度より下がった場合」については、「必要に応じて、学校の先生やご家族の方と相談してみるのもよいでしょう。」などのコメントを記載しています。児童生徒の現状や要望に応じて**面談などを行い**、つまずきや課題を共有しつつ、よいところを認め、子供たちが自分をさらに伸ばし、自分のよさを生かしていけるよう働きかけましょう。

(4) **教科の領域等別正答率** 及び **県全体の正答率分布** について

- ・「教科の領域等別正答率」には、領域ごとの正答数、設問数、正答率を県全体の平均も併せて記載しています。レーダーチャートの実線（）は児童生徒の正答率、網掛け（）になっている部分は、県全体の平均正答率となっています。学力の変化の状況以外に、児童生徒のよさを認める際の参考としてください。
- ・「県全体の正答率分布」は、人数を横軸とした県全体の分布を棒グラフで示しています。当該の児童生徒が含まれる集団を表す棒グラフの色を  として、県全体におけるおおよその位置が分かるようになっています。ただし、**本調査の目的は、児童生徒一人一人の「学力の伸び」や変化を把握してよさを伸ばしていくこと**にありますので、県全体の中での位置に重きを置いた働きかけや指導は控え、あくまで**参考として御活用ください。**

【個人結果票4ページ】

(5) 「質問紙調査の結果～規律ある態度の達成目標～」について

- ・規律ある態度の達成目標について、児童生徒の回答状況を示しています。
- ・面談等において**よいところを認め、ほめる**材料にしてください。

(6) 自由記述欄の活用について（例）

- ・夏季休業中の学習計画や取組などについて児童生徒が記入する。
- ・保護者ががんばりを認めたり、励ましたりするコメントを記入してもらう。
- ・担任が、児童生徒のがんばりなどを認めるコメントを記載しておく。